直近の学術フォーラム・公開シンポジウム等の開催予定について

令和７年２月２７日時点

開催日時	開催形式（場所）	名称
3月1日（土） 13:00～16:00	オンライン	公開シンポジウム「高齢者の健康と生活に与える環境の影響：学際領域の研究成果を融合」
3月1日（土） 13:00～17:00	オンライン	公開シンポジウム「人流ビッグデータがもたらす新しい未来像」
3月1日（土） 13:30～17:25	ハイブリッド （日本学術会議講堂）	学術フォーラム「AI活用時代における経営教育の変革」
3月5日（水） 9:00～11:30	札幌コンベンションセンター	公開シンポジウム「農芸化学分野におけるジェンダード・ イノベーションへの展望」
3月7日（金） 17:30～19:00 3月8日（土） 10:30～17:00	ハイブリッド （京都里山SDGsラボ「ことす」）	公開シンポジウム「多世代・多分野交流による環境・SDGs教育会議 ～環境問題に関心のない人をどのように巻き込んでいくか？～」
3月8日（土） 13:00～16:30	オンライン	公開シンポジウム「〈原爆〉をめぐる記憶と継承」
3月9日（日） 10:00～11:00	ハイブリッド （仙台国際センター）	公開シンポジウム「２つの提言：壊滅的災害へのそなえを考える～1995阪神・淡路、2011東日本、2024能登半島の教訓に学ぶ～」
3月11日（火） 13:30～17:05	ハイブリッド （東京大学）	公開シンポジウム「わたしたちの食をまもる植物保護科学の未来」
3月12日（水） 13:00～17:30	ハイブリッド （日本学術会議講堂）	学術フォーラム「循環経済を活かし自然再興と調和する炭素中立社会への移行」
3月14日（金） 13:00～17:00	オンライン	公開シンポジウム「地球規模の変化に対応したレジリエントな水産業－水産業を評価するための基準を考え直すー」
3月14日（金） 13:00～17:00	ハイブリッド （日本学術会議講堂）	公開シンポジウム「第10回理論応用力学シンポジウム」
3月15日（土） 13:10～15:05	オンライン	公開シンポジウム「日本在来馬は、どこから来て、どこへ行くのか？」

3月16日(日) 13:00～16:00	オンライン	公開シンポジウム「不登校現象に関する研究の到達点」
3月16日(日) 13:00～17:30	ハイブリッド （東京大学）	公開シンポジウム「気候変動下の食料生産の確保に向けた研究最前線」
3月19日(水) 13:00～17:30	ハイブリッド （京都大学）	公開シンポジウム「教育DXのためのデータ利活用について考える」
3月19日(水) 14:00～16:30	オンライン	公開シンポジウム「未来を創る主権者教育」
3月20日(木) 9:00～12:00	駒澤大学	公開シンポジウム「初等教育における世界的な視野の獲得について」
3月20日(木) 13:00～16:30	ハイブリッド （東京大学）	公開シンポジウム「人間にとって学習とは何か？」
3月21日(金) 15:30～17:00	ソニックシティ	公開シンポジウム「環境リスクと正義」
3月25日(火) 13:45～17:00	東京都市大学	公開シンポジウム「国際競争力向上の戦略」
3月29日(土) 13:00～15:50	オンライン	公開シンポジウム「睡眠・冬眠と体内時計 ～生物リズムの進化から未来社会を考える～」

※諸般の事情により、内容等に変更が生じる可能性がありますので、学術フォーラム・公開シンポジウム等の参加前には日本学術会議ホームページを御確認ください。

日本学術会議　公開シンポジウム

オンライン開催
（オンデマンド配信あり）

高齢者の健康と生活に与える環境の影響：学際領域の研究成果を融合

無 料
どなたでもご参加いただけます

日時：令和７年３月１日（土）13：00 ～ 16：00
場所：オンライン開催（先着500名）・オンデマンド配信
※オンデマンド配信は、シンポジウム終了後に日本学術会議のHPにアクセスください。

次　　第

総 合 司 会　**秋下　雅弘**（日本学術会議第二部会員／地方独立行政法人東京都健康長寿医療センターセンター長）
伊香賀俊治（日本学術会議連携会員／慶應義塾大学名誉教授／一般財団法人住宅・建築SDGs推進センター理事長）

委員長挨拶　**森山美知子**（日本学術会議第二部会員／広島大学大学院医系科学研究科教授）

司　　会　**住居　広士**（日本学術会議連携会員／県立広島大学大学院特任教授）
森山美知子（前出）

話 題 提 供

松野　秀生（国土交通省住宅局住宅生産課長）
堀　　裕行（厚生労働省老健局老人保健課長）

シンポジスト

第１セッション

１）『エイジ・フレンドリー・コミュニティ』
中村　桂子（日本学術会議連携会員／東京科学大学大学院医歯学総合研究科国際保健医療事業開発学分野教授）

２）『データからみる高齢者の健康・生活に関する課題』
長澤　夏子（日本学術会議連携会員／お茶の水女子大学基幹研究院自然科学系教授）

第２セッション

１）『高齢者の健康と生活を支える住宅環境の改善に向けて』
伊香賀俊治（前出）

２）『高齢者の健康と医療DX』
金子　周一（日本学術会議連携会員／金沢大学大学院医薬保健学総合研究科特任教授）

３）『データを活用して地域住民の生活上の安全と安心を守る／DX化の推進』
山川みやえ（日本学術会議連携会員／大阪大学大学院医学系研究科統合保健看護科学分野老年看護学准教授）

総合討論
指定発言
飯島　勝矢（日本学術会議連携会員／東京大学高齢社会総合研究機構機構長／東京大学未来ビジョン研究センター教授）

閉会の挨拶
荒井　秀典（日本学術会議第二部会員／国立研究開発法人国立長寿医療研究センター理事長）

お申込方法

1. お申込はオンラインフォームからお願いします。
右のQRコードからもアクセスできます。　【申込締め切り　令和７年２月27日（木）】
https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_mb0488LUTF2rkKqrnCaacg

2. お申込み後、後日、オンライン会議のURLをメールにてお送りします。
メールが届かない場合、お問合せ先 kankyo@ibecs.or.jp までお問合せください。

主催：日本学術会議健康・生活科学委員会高齢者の健康・生活分科会、臨床医学委員会・健康・生活科学委員会合同老化分科会、土木工学・建築学委員会・環境学委員会合同カーボンニュートラル都市分科会、環境学委員会・健康・生活科学委員会合同環境リスク分科会

後援：一般社団法人日本老年医学会、一般社団法人日本老年学会、一般社団法人日本応用老年学会、一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会、一般社団法人日本建築学会、公益社団法人空気調和・衛生工学会、日本介護福祉学会、日本保健福祉学会、一般財団法人住宅・建築SDGs推進センター、一般社団法人日本看護系学会協議会

日本学術会議公開シンポジウム

人流ビッグデータがもたらす新しい未来像

2025.3.1 土 13:00-17:00

オンライン開催

参加費 無料

お申し込み方法

参加をご希望の方は、2月27日(木)までに、下記URLまたはQRコードより事前申込みください。

https://forms.gle/rZta6esthKU7gj5R8

PROGRAM

［総合司会］伊藤 香織（日本学術会議連携会員、東京理科大学創域理工学部建築学科教授）

13:00 開会挨拶・趣旨説明
矢野 桂司（日本学術会議第一部会員、立命館大学文学部教授、一般社団法人人文地理学会会長）

13:15 講演1 **鈴木 俊博**（株式会社ドコモ・インサイトマーケティング　エリアマーケティング部長）
「人流データの作成とプライバシー保護」

13:35 講演2 **永田 彰平**（東北大学災害科学国際研究所助教）
「感染症流行や自然災害下における人流データ解析」

13:55 講演3 **松原　宏**（福井県立大学地域経済研究所長、教授）
「RESASにおける人流データの活用」

14:15 休憩

14:30 講演4 **石井 良治**（一般財団法人計量計画研究所　研究本部データサイエンス室ITマネジャー）
「パーソントリップ調査の課題と未来：調査の標準化・オープン化と人流ビッグデータとの融合」

14:50 講演5 **新井 亜弓**（麗澤大学工学部情報システム工学専攻准教授）
「人流データを用いた各国の公的統計補完の主流化と国際機関を中心とした支援活動」

15:10 講演6 **関本 義秀**（東京大学空間情報科学研究センター長、教授）
「全国擬似人流を用いたモビリティデジタルツインの社会実装へのチャレンジ」

15:30 休憩

15:45 パネル討論・質疑応答
［パネリスト］上記の講演者
［コーディネーター］
中谷 友樹（日本学術会議連携会員、東北大学大学院環境科学研究科教授、一般社団法人地理情報システム学会副会長）

16:45 全体総括
山本 佳世子（日本学術会議連携会員、電気通信大学大学院情報理工学研究科教授、一般社団法人地理情報システム学会会長）

主催：日本学術会議地域研究委員会地域情報分科会

共催：一般社団法人地理情報システム学会、一般社団法人人文地理学会　後援：地理学連携機構、公益社団法人日本地理学会

著作者：fanjianhua ／出典：Freepik

日本学術会議　学術フォーラム

主催：日本学術会議
共催：経営関連学会協議会

「AI活用時代における経営教育の変革」

日本は現在、人口減少や少子高齢化、地球環境問題に直面しつつ、生成AI（ChatGPTなど）の人工知能技術が進展する中、経済成熟化社会の転換点に立っています。本フォーラムでは2030年を見据え、企業経営における新たな教育アプローチを模索し、高度デジタル社会で持続可能な価値を創出する人材育成について議論します。

参加費無料

↓　参加登録フォーム　↓

締切 **2月25日（火）**

https://form.cao.go.jp/scj/opinion-0300.html

2025年 3月1日(土)

13:30～17:25

日本学術会議講堂
東京都港区六本木7-22-34
東京メトロ千代田線「乃木坂」駅５出口

オンライン併用

PROGRAM

＜ 司会　佐々木 郁子 （日本学術会議 連携会員、東北学院大学 国際学部 教授）＞

13:30　開会挨拶　吉田 文（日本学術会議 第一部 部長、早稲田大学 教育・総合科学学術院 教授）

13:35　共催挨拶　西尾 チヅル（経営関連学会協議会 理事長、日本学術会議 連携会員、 筑波大学 副学長）

13:40　分科会活動報告　原 良憲（日本学術会議 連携会員、大阪成蹊大学 データサイエンス学部 教授）

13:55 ～ 15:25　パネル討論１

「2030年に向けた企業経営・会計監査の人材育成に資する教育変革」

ファシリテーター　恩藏 直人（日本学術会議 連携会員、早稲田大学 商学学術院 教授）

パネリスト　古澤 知之（公益監視委員会 (PIOB) メンバー、金融庁 元企画市場局長）
菊地 唯夫（経済同友会 副代表幹事、ロイヤルホールディングス(株) 代表取締役会長）
野口 晃弘（日本学術会議 第一部会員・経営学委員会 委員長、南山大学 経営学部 教授）
阪 智香 （日本学術会議 連携会員、関西学院大学 商学部長・教授）

15:25 ～ 15:40　休憩

15:40 ～ 17: 10　パネル討論２

「社会のあるべき姿からみた経営教育の展望」

ファシリテーター　鈴木 久敏 （日本学術会議 連携会員、筑波大学 名誉教授）

パネリスト　木根原 良樹 （株式会社三菱総合研究所 政策・経済センター 主席担当部長）
竹田 陽子 （中央大学 大学院戦略経営研究科 教授）
上林 憲雄 （日本学術会議 連携会員、神戸大学 大学院経営学研究科 教授）
島田 啓一郎 （ソニーグループ 社友 元ソニー 執行役員）

17:10 ～ 17:25　まとめと閉会挨拶　椿 美智子（日本学術会議 連携会員、東京理科大学 経営学部長・教授）

【お問合せ】
日本学術会議事務局企画課学術フォーラム担当
電話：03-3403-6295

公益社団法人 日本農芸化学会
日本学術会議 第二部生命科学ジェンダー・ダイバーシティ分科会

公開シンポジウム

農芸化学分野における ジェンダード・イノベーションへの展望

日時：2025年３月5日（水）9:00～11:30

会場：札幌コンベンションセンター
（札幌市白石区東札幌６条１丁目１－１）

参加費無料
事前登録不要

直接、会場におこしください

ジェンダード・イノベーションは、スタンフォード大学のロンダ・シービンガー教授が2005年に提唱した「研究開発において性差に着目することで、より良い技術革新をめざす」というコンセプトである。ジェンダード・イノベーションを取り込んだ研究及び開発は、科学、医療、工学・テクノロジー等に革新的な変革をもたらすとともに、科学分野におけるジェンダー平等実現に向けた最新にして最強のアプローチであると考えられており、例えば、EUの超大型研究・イノベーション支援プログラムであるHorizon Europeでは、このコンセプトを取り入れて「Sex and Gender分析」が義務化されている。すなわち、ジェンダード・イノベーションの研究・技術開発への導入は既に世界的な潮流となっている。ジェンダード・イノベーションの対象分野は多岐にわたり、農芸化学分野で行われている動物や幹細胞を用いた食品や栄養などの研究もその中の重要課題であるが、日本ではその導入が遅れている。本シンポジウムは、ジェンダード・イノベーションの重要性を認識し、農芸化学分野におけるその大いなる可能性を展望していただくことを目的として企画した。

『ジェンダード・イノベーション』概念とその意義および今後の影響
裏出 令子（京都大学複合原子力科学研究所特任教授）
座長：芦田 均（武庫川女子大学食物栄養科学部食物栄養学科教授）

栄養応答における性差と内分泌因子の役割：脂溶性ビタミンおよび タンパク質栄養の観点から
竹中 麻子（日本学術会議第二部会員／明治大学農学部農芸化学科教授）
座長：芦田 均（武庫川女子大学食物栄養科学部食物栄養学科教授）

生殖を制御する脳内メカニズムとその性差
束村 博子（名古屋大学大学院生命農学研究科特任教授）
座長：竹中 麻子（日本学術会議第二部会員／明治大学農学部農芸化学科教授）

匂い物質に対する嗜好と嗅覚刺激により誘導される生理応答の性差
大畑 素子（日本大学生物資源科学部食品開発学科准教授）
座長：林 由佳子（京都大学大学院農学研究科准教授）

米アルブミンによる食後血糖値上昇抑制作用に対する性差の影響
熊谷 日登美（日本学術会議連携会員／日本大学生物資源科学部食品開発学科教授）
座長：前多 隼人（弘前大学農学生命科学部食料資源学科准教授）

SDGs目標年の2030年は目の前！ わたしたちはこれからどうする!?

日本学術会議 公開シンポジウム

環境問題に関心のない人をどのように巻き込んでいくか？

多世代・多分野交流による環境・SDGs教育会議

DAY 1 2025.3.7 (金) 17:30－19:00

17:30 開会のあいさつ 豊田光世（日本学術会議（SCJ）連携会員、新潟大学 教授）

17:40 特別セッション「自然災害と環境教育 －能登からの報告－」

基調講演「被災地で学びをつなぐ －能登里海教育研究所が果たす役割－」

浦田慎（能登里海教育研究所 主幹研究員）、能丸恵理子（能登里海教育研究所 研究員）

司会進行：小山明子（国連大学サステイナビリティ高等研究所 いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット 研究員）

DAY 2 2025.3.8 (土) 10:30－17:00

10:30 円卓会議趣旨説明 浅利美鈴（SCJ連携会員、総合地球環境学研究所教授）

10:45 【第1部】グローバルな環境問題をめぐるローカルなアクション

円卓会議 1
「めぐる」学びの底上げに向けて

コーディネーター：浅利美鈴

1. 窒素！
林健太郎（総合地球環境学研究所 教授）

2. プラ！
金子愛里（（株）良品計画）
郭菁尭（京都大学修士課程2回生）

3. ごみ！
大関はるか
（（有）ひのでやエコライフ研究所）

4. ！？♪！
草郷孝好（関西大学 教授）

円卓会議 2
いのちのにぎわい

コーディネーター：
豊田光世
山口しのぶ
（SCJ 連携会員、東京工業大学 名誉教授）

1. 探究で深める
小坂康之
（福井県立若狭高等学校 教諭）

2. デジタルでつなぐ
藤木庄五郎
（（株）バイオーム 代表取締役）

3. 市民科学で広がる
奇二正彦（立教大学 准教授）

円卓会議 3
地域にまなび、地域とつくるカーボンニュートラルの未来

コーディネーター：
藪田美玖（（株）エックス都市研究所 研究員）
近藤康久
（SCJ 連携会員、総合地球環境学研究所 教授）

1. 地域 × エネルギー
木原浩貴
（たんたんエナジー（株）代表取締役）

2. 若者 × アクション
小出愛菜
（陸前高田しみんエネルギー（株）、
（（一社）we Re:Act 共同代表）

3. 市民教育 × 気候変動
高田研
（（一社）地球温暖化防止全国ネット 理事長）

（12:15－13:15 休憩）

13:15 【第2部】アクションを生み出していくためのアプローチ

円卓会議 4
科学だけでは生み出せない理解と共感

コーディネーター：
河野哲也
（SCJ 第一部会員、立教大学 教授）
豊田光世

1. 妖怪のランドスケープ
髙田知紀（兵庫県立大学 准教授）

2. アートでひらく感性
Rachel Sweeney
（英国シューマッハカレッジ 教授）

3. 伝えるシカケ
井上大輔
（NPO 法人 北九州・魚部 代表）

円卓会議 5
野外活動の「楽しい」学びからの広がり

コーディネーター：
井上真理子
（SCJ 連携会員、森林総合研究所多摩森林科学園教育的資源研究グループ長）
小崎隆
（SCJ 連携会員、愛知大学国際問題研究所研究員、京都大学 名誉教授）

1. 野外教育から
中野友博
（びわこ成蹊スポーツ大学 副学長）

2. “驚き”を呼び込む自然体験学習
関礼子（立教大学 教授）

3. 土の教育から
森圭子
（埼玉県立川の博物館 学芸員）

円卓会議 6
「いただきます」からの学び

コーディネーター：
近藤康久

1. 日本農業教育学会から
井上博茂（京都大学 准教授）

2. 南阿蘇のコメ作りから
大津愛梨
（O2Farm 共同代表、総合地球環境学研究所 客員准教授）

3. ハンバーガーから
飯澤雄三
（日本マクドナルド（株）サステナビリティ＆ESG 部マネージャー）

円卓会議 7
観光から環境へのアプローチを探る

コーディネーター：
大浦由美
（SCJ 連携会員、和歌山大学 教授）

1. サスティナブル・ツーリズムへの道程と人材育成
加藤久美（和歌山大学 教授）

2. 観光関連事業者へのアプローチ
佐々木康之
（Climate Integrate コミュニケーション・マネジャー）

3. ゼロカーボン・ツーリズム
藤江佑馬（Raicho Inc. 代表）

15:00 【第3部】全体会議

環境問題に関心のない人をどのように巻き込んでいくか？

コメンテーター：萩原なつ子（国立女性教育会館 理事長）、安田仁奈（SCJ連携会員、東京大学 教授）

16:45 閉会のあいさつ 河野哲也（SCJ第一部会員、立教大学 教授）

会場 京都里山 SDGsラボ「ことす」＋オンライン
（京都市右京区京北周山町下寺田 11）

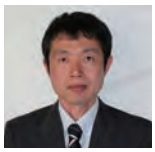
- 3月8日は8:45京都駅発、18:15すぎ京都駅着のチャーターバス（予約・先着）あり
  ※それ以外のアクセス：https://www.kotos-kyoto.jp/access
- 3月8日は「地産地消ランチ」を予約できます（1,000円／現地にてお支払い）

参加無料

QRコードからお申し込みください。
申込期限: 2025年2月末 https://x.gd/u3iRR

主催：日本学術会議環境学委員会環境思想・環境教育分科会　共催：総合地球環境学研究所、京都里山 SDGs ラボ運営協議会、京都超 SDGs コンソーシアム
後援：日本環境教育学会、日本野外教育学会、日本農業教育学会、日本土壌肥料学会、日本ペドロジー学会、佐渡島自然共生ラボ

特別セッション



浦田慎
能登里海教育研究所 主幹研究員

能丸恵理子
能登里海教育研究所 研究員

小山明子
国連大学 UNU-IAS OUIK 研究員

円卓会議 1

林健太郎
総合地球環境学研究所 教授

金子愛里
(株)良品計画

郭菁尭
京都大学修士課程2回生

大関はるか
(有)ひのでやエコライフ研究所

草郷孝好
関西大学 教授

円卓会議 2

小坂康之
福井県立若狭高等学校 教諭

藤木庄五郎
(株) バイオーム 代表取締役

奇二正彦
立教大学 准教授

円卓会議 3

木原浩貴
たんたんエナジー(株)代表 取締役

小出愛菜
陸前高田しみんエネルギー(株)、一般社団法人 we Re:Act 共同代表

高田研
一般社団法人地球温暖化防止全国ネット 理事長

円卓会議 4

髙田知紀
兵庫県立大学 准教授

Rachel Sweeney
英国シューマッハカレッジ 教授

井上大輔
NPO法人 北九州魚部 代表

円卓会議 5

中野友博
びわこ成蹊スポーツ大学 副学長

関礼子
立教大学 教授

森圭子
埼玉県立川の博物館 学芸員

円卓会議 6

井上博茂
京都大学 准教授

大津愛梨
O2Farm 共同代表、総合地球環境学研究所 客員准教授

飯澤雄三
日本マクドナルド(株) サステナビリティ&ESG 部マネージャー

円卓会議 7

加藤久美
和歌山大学 教授

佐々木康之
Climate Integrate コミュニケーション・マネジャー

藤江佑馬
Raicho Inc. 代表

全体会議

萩原なつ子
国立女性教育会館 理事長

安田仁奈
日本学術会議連携会員、東京大学 教授

コーディネーター

豊田光世
日本学術会議連携会員、新潟大学 教授

浅利美鈴
日本学術会議連携会員、総合地球環境学研究所 教授

井上真理子
日本学術会議連携会員、森林総合研究所多摩森林科学園教育的資源研究グループ長

大浦由美
日本学術会議連携会員、和歌山大学 教授

河野哲也
日本学術会議第一部会員、立教大学 教授

小崎隆
日本学術会議連携会員、愛知大学国際問題研究所研究員、京都大学名誉 教授

近藤康久
日本学術会議連携会員、総合地球環境学研究所 教授

山口しのぶ
日本学術会議連携会員、東京工業大学 名誉教授

藪田美玖
(株) エックス都市研究所 研究員

現地の宿泊や観光を希望される方につきましては、右記のサイトをご参照ください。

いけいけ、けいほく! 京都京北ナビ
https://kyoto-keihoku.jp/

現地滞在に関するご相談があれば遠慮なくお問合せください。
担当：総合地球環境学研究所 浅利美鈴(mezase530@gmail.com)まで

関連イベント

2025.3.7 (金)

13:20－14:55
京都市立京北小中学校の
SDGs・資源循環授業参加(公開授業)

15:30－16:30
京都里山 SDGsラボ「プラ・スクール」視察

※前後の時間帯は、ことすにて、テレワーク可能

〈原爆〉をめぐる記憶と継承

2025年は戦後80年である。現在、核兵器が実際に使用される懸念がかつてないほど高まっている一方、〈原爆〉の記憶と継承はますます困難となりつつある。こうした中、戦後日本社会における〈原爆〉の記憶と継承をめぐってこれまでどのようなことが生じてきたのか、現在何が起こっているのか、〈被爆〉の記憶を継承することがいかに困難／可能となっているのか、そもそも〈被爆〉をめぐって継承すべき記憶とはいったい何であるのか。本シンポジウムではこうした問いを複眼的に検討する。

2025年3月8日(土) 13:00〜16:30

司会
天田城介（中央大学文学部）

報告者
根本雅也（一橋大学大学院社会学研究科）
直野章子（京都大学人文科学研究所）
深谷直弘（長崎県立大学地域創造学部）

討論者
野上元（早稲田大学教育・総合科学学術院）
朴沙羅（ヘルシンキ大学文学部）

社会学系コンソーシアム2024年度シンポジウム
主催：社会学系コンソーシアム、日本学術会議社会学委員会

申し込み用フォーム

一般財団法人
世界防災
フォーラム

World Bosai
Forum 2025

公開シンポジウム
2 つの提言：壊滅的災害へのそなえを考える
～1995 阪神・淡路、2011 東日本、2024 能登半島の教訓に学ぶ～

2025 年 3 月 9 日（日）　11：00 - 12：00

@ 仙台国際センター 会議棟 2 階　会議室「橘」

主催　日本学術会議 防災減災学術連携委員会、IRDR 分科会

共催　防災減災連携研究ハブ（JHoP）

日本学術会議では、今後策定を予定している2つの提言を通した未来の防災を考える場を創出する。過去の災害教訓を国内で想定される壊滅的災害の減災に活かす提言として「能登半島地震・豪雨災害の教訓に基づく南海トラフ 巨大地震等における地域広域災害への備え（仮称）」、この国内教訓を発展させ世界、特にアジアの防災に貢献する提言「壊滅的災害発生が想定されるメガシティの防災力強化に向けた科学技術イノベーション（仮称）」である。
本セッションでは、「壊滅的災害へのそなえを考える ～1995阪神・淡路、2011東日本、2024能登半島の教訓に学ぶ～」をテーマとし、市民や地域から広く意見を集める機会とする。

次 第　言語：日本語【同時通訳あり】

11:00　**開催挨拶**
竹内 徹（日本学術会議第三部会員／東京科学大学環境・社会理工学院教授）

第 1 セッション
11:03　『令和 6 年能登半島地震・豪雨災害の教訓』
大原 美保（日本学術会議連携会員／東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター教授）
11:10　『提言案「能登半島地震・豪雨災害の教訓に基づく南海トラフ巨大地震等における地域広域災害への備え」紹介』
竹内 徹（日本学術会議第三部会員／東京科学大学環境・社会理工学院教授）
11:17　『アジアと中南米における巨大都市の課題』
西川 智（独立行政法人国際協力機構上席国際協力専門員）
11:24　『提言案「壊滅的災害発生が想定されるメガシティの防災力強化に向けた科学技術イノベーション」』
寶 馨（日本学術会議連携会員／国立研究開発法人防災科学技術研究所理事長／京都大学名誉教授）

第 2 セッション パネルディスカッション
11:31　『2024 能登半島地震の教訓を世界に発信する～アジア太平洋地域の巨大災害の脅威を考える～』
総合司会：田村 圭子（日本学術会議第三部会員／新潟大学危機管理本部危機管理センター教授）

11:57　**閉会挨拶**
寶 馨（日本学術会議連携会員／国立研究開発法人防災科学技術研究所理事長／京都大学名誉教授）

公開シンポジウム

わたしたちの食をまもる 植物保護科学の未来

令和7年3月11日(火) 13:30～17:05 参加無料

東京大学安田講堂・オンライン ハイブリッド開催

司会　水口 智江可 (名古屋大学大学院農学研究科准教授)

13:30～ **開会の挨拶**
松田 一彦 (日本学術会議連携会員/近畿大学農学部教授)

第1セッション【植物保護におけるリスク評価と判断】

13:35～ **ほんとうの「食の安全」を考える**
畝山 智香子 (国立医薬品食品衛生研究所客員研究員)
座長　斎藤 勲 (東海コープ)

14:20～ **「AI for Science研究はAI研究にあらず」：理研におけるAI for Science 特に生成AIの科学への適用を目指すTRIP-AGIS**
松岡 聡 (理化学研究所計算科学研究センター センター長/東京科学大学情報理工学院特定教授)
座長　松田 一彦 (日本学術会議連携会員/近畿大学農学部教授)

15:05～ 休憩

第2セッション【植物保護と人類】

15:20～ **植物が乾燥から身を守るしくみの解明と育種への応用**
篠崎 和子 (東京農業大学総合研究所教授/東京大学名誉教授)
座長 浅見 忠男 (横浜市立大学木原生物学研究所客員教授/東京大学名誉教授)

16:05～ **微生物と歩んだ半世紀　－人類の福祉と保健の向上にむけて－**
大村 智 (日本学術会議栄誉会員/日本学士院会員/北里大学特別栄誉教授)
座長 滝川 浩郷 (東京大学大学院農学生命科学研究科教授)

16:50～ **総合討論**
松本 宏 (日本学術会議連携会員/筑波大学名誉教授)

17:00～ **閉会の挨拶**
與語 靖洋 (公益社団法人日本植物調節剤研究協会研究所技術顧問)

参加の申し込み（事前申し込み制）
- 申し込み期間　令和7年1月1日～3月5日
- 申し込み方法　右のQRコードを読み取りお申し込みください。
  QRコードが使えない場合、日本農薬学会 (https://www.pssj2.jp/)からお申し込みください。
- オンライン申し込みは先着1000名まで　学会関係者以外の会場参加は先着300名まで
- 問い合わせ先　nouyaku@pssj2.jp

主催：日本学術会議植物保護分科会　共同主催：一般社団法人日本農薬学会